

事業評価一覧

関連分野

事業名	内容	担当課	関連分野	R3年度		
				実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
1 乳幼児健診	専門職による健診・歯科健診や健康・栄養・歯・育児の相談	福祉保健センター(親子)		2.継続	受診者及び同居家族の体調確認や会場設定等の感染症拡大防止の措置を講じた上で、全ての健診を集団健診で継続した。一部を個別健診とした令和2年度と比べ、ほとんどの健診で受診率が上がった。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施方法等を検討していく。
2 2歳6か月児歯科健診	むし歯の予防を目的に、歯科健診、フッ化物塗布、歯みがき指導及び健康相談	福祉保健センター(親子)		2.継続	R2年度の委託による個別実施から、R3年度は集団健診へ戻し、受診率が個別化したときよりも大幅に上がった	実施内容を変更し歯みがき指導ができていないため、今後伝え方等を検討していく
3 離乳食学級	離乳食のすすめ方や作り方のポイント及びむし歯予防、事故予防の講話	福祉保健センター(親子)		3.コロナ等により中止	新型コロナ感染症の流行を鑑み、個別対応の離乳食相談として実施。令和3年度は74組が参加した。	個別対応のため、個人に即した離乳食の進め方等の提供ができたが、集団に比べ参加者は減少した。新型コロナ感染症の状況を踏まえ、実施方法等を検討していく。
4 パパママ教室	妊婦とそのパートナーを対象に、健康、栄養、歯の衛生、育児等赤ちゃんの健康に関する教室	福祉保健センター(親子)		2.継続	新型コロナ感染症の流行を鑑み、小集団で複数日程を設定し、実施。令和3年度は345人が参加した	病院での母親学級も中止になっていることが多く、必要がある事業である。今後も感染対策に配慮し、継続する
5 広報での周知	食・運動・こころ・歯など全分野において啓発を行う	福祉保健センター		2.継続	新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、新たな生活様式や感染防止のための知識について啓発を行った	今後も必要な情報について啓発を実施する
6 戸田市乳幼児健康ダイヤル24	24時間年中無休の無料電話相談	福祉保健センター(親子)		2.継続	令和3年度は1,925件(延べ)の相談があった	24時間年中無休の相談対応は、子育て世帯にとって安心感と利便性があるため継続実施していく
7 健康相談	健康・栄養・歯科など電話や面接相談	福祉保健センター(成人)		2.継続	電話相談50件、面接相談12件	面接による希望者には事前の体調確認を行い、当日は消毒やパーテーションを用い感染対策を講じて実施する
8 思春期健康教育(依頼講座)	思春期保健に関する、知識の普及等の講座	福祉保健センター(親子)		2.継続	中学1年生に向けて歯科保健依頼講座とともに、朝食摂取の大切さを講話した	感染症対策を行った上で、思春期保健講座を継続して実施する
9 歯科保健(依頼講座)	歯科保健に関する、知識の普及等の講座	福祉保健センター(親子・成人)		2.継続	例年、小中学校4校から依頼が来ているが、コロナにより3校のみの実施となり歯みがきの実技指導を講話に変えた	感染予防対策を行いながら依頼元と協議しながら継続して実施していく
10 すっきりボディ塾	メタボリックシンドロームの改善・予防教室 運動実技・調理実習	福祉保健センター(成人)		4.コロナ等により縮小	4回実施、参加人数計28人	令和4年度から特定保健指導が委託となるため、すっきりボディ塾はボイチュレーションアプローサーのみの教室となる。内容の検討が必要
11 特定保健指導個別相談	メタボリックシンドロームの改善・予防のための個別面接	福祉保健センター(成人)		2.継続	34回、113人 感染症予防のため、完全個室にて実施した。	令和4年度から保険年金課が主となり、特定保健指導事業が委託となる。
12 骨こつ教室	骨量測定、骨粗しょう症予防・歯周病予防の講話	福祉保健センター(成人)		4.コロナ等により縮小	骨量測定、骨粗鬆症を予防する生活習慣・運動、歯周病予防の講話を年3回実施、参加人数計84人	毎年、同じ方が教室に参加していることが多いため、内容の工夫及び周知方法の検討をしていく。
13 まちづくり出前講座	市民からの依頼に応じて、健康に関する知識等の普及を目的とした講座の実施	福祉保健センター(成人)		2.継続	出前(依頼)講座実施回数 21回 参加人数 609名 健康長寿サポーター 0回 TODA元気体操 1回 健康長寿サポーターを増やすために、骨こつ教室の内容に、講座を組み込み実施した。	・依頼者からの講座に対する要望を聞き取り、適した講座を提供できるようにする。 ・普段事業に参加しない層をセンターの事業に繋げられるよう講座内で事業の紹介・啓発を行う

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
14 健康福祉まつり	健康に関する知識等の普及を目的としたイベント 受動喫煙防止のために肺年齢測定、食への興味・ 関心向上のために「災害時の食事」の展示やクイズ、 感染症予防のために「手洗いチェック」体験を実施	福祉保健センター (政策)		3.コロナ等により中止		
15 生活習慣改善教室	市民の健康づくりの一環として糖尿病、慢性腎臓病 予防及び歯周病予防の知識の普及、啓発を行う	福祉保健センター (成人)		4.コロナ等により縮小	脂質異常症と動脈硬化の予防に関わる生活習慣 について、医師と管理栄養士による講義を年1回 実施、参加人数34人	新型コロナウイルス感染症の感染状況を 踏まえ、実施内容の検討をしていく。
16 こころの健康講演会	精神疾患に関する正しい知識と理解及びメンタル ヘルスケアに関する普及啓発講演会	福祉保健センター (成人)		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催を 中止した。しかし自殺予防対策の一環として、メン タルヘルスに関する正しい知識と理解の普及啓 発を図り、市民の心の健康づくりへの意識を向上 させることは必要であることから、「こころのセルフ ケアに関する啓発」を目的としたチラシを作成し、 町会・自治会へ回覧した。	R4年度は保健所及び蕨市と共催で実施 予定。ひきこもりに関連した講演会を実施 予定。
17 埼玉県コバトン健康マイレージ事業	健康寿命の延伸へつなげることを目的とし、歩数等 に応じて参加者へポイントを付与し、そのポイント数 に応じた賞品等を提供する事業	福祉保健センター (成人)		2.継続	18歳以上の全世帯主に個別通知を行い、例年よ り多くの賞品を用意したことで、6,633人の新規参 加者が増加した。	非継続者や退会者を出さないように引き 続き、抽選会の実施や周知の工夫を行う 必要がある。
18 成人歯科健診	歯周病、歯の喪失予防を目的とした健診	福祉保健センター (成人)		2.継続	例年通り実施 948人受診(受診率10.1%で前年比率-0.8ポ イント)	今後も受診勧奨を実施し、受診率の向上 に努める
19 子育て相談ルーム	妊娠中から就学前までの健康・子育ての悩みなど の相談	福祉保健センター (親子)		2.継続	利用者実人数は妊婦が1,441人、乳幼児が511人 であった。妊娠届出が福祉保健センターのみに なり、保健師が必ず面接を実施したため件数が 増加した。	令和3年度より、オンライン面談も開始して いる。今後も継続して子育て相談を実施 する。
20 いきさわやか相談	口臭にポイントをおいて、歯周病予防の動機付けを 目的とした歯科相談	福祉保健センター (成人)		2.継続	年間11回44人実施	妊婦や若年の歯科保健対策の場として若い 世代の参加者数を増やせるよう周知す る
21 30歳代健康診査	30歳代の健診	福祉保健センター (政策)		2.継続	実施期間R03.6月中旬～R03.2月末 30歳代健診152人受診	令和4年度も引き続き実施する
22 生活保護受給者の健康診査	生活保護受給者の健診	福祉保健センター (政策)		2.継続	実施期間R03.6月中旬～R03.2月末 生保健診197人受診	令和4年度も引き続き実施する
23 保険異動者の健康診査	保険異動者の健診	福祉保健センター (政策)		2.継続	実施期間R03.6月中旬～R03.2月末 保健異動者5人受診	令和4年度も引き続き実施する
24 肝炎ウイルス(B型・C型)検診	肝炎ウイルスB型・C型の検診	福祉保健センター (政策)		2.継続	実施期間R03.6月中旬～R03.2月末 肝炎 233人受診	令和4年度も引き続き実施する

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
25 がん検診	肺・胃・大腸・前立腺・乳・子宮がんの検診	福祉保健センター(政策)		3.継続	実施期間R03.6月中旬～R03.2 バリウム 1,988件 内視鏡 482件 肺 9,752件 大腸 6,661件 乳 2,729件 子宮 4,307件	令和4年度も引き続き実施する
26 各種健診・検診フォロー	各種健診・検診の事後フォロー	福祉保健センター(成人)		2.継続	健診実施期間の変更に伴い、令和2年度健診受診分の事後フォローの一部を令和3年度に実施。	同様に実施予定
27 がん啓発イベント	がんに関する知識の普及・啓発	福祉保健センター(成人)		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を鑑み、イベントの開催を中止した。10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に、福祉保健センターとあいパルの健康情報ステーションにがん啓発ポスターを掲示、広報に情報を掲載、本庁舎と福祉保健センターに横断幕を設置した	令和4年度も引き続き実施する
28 受動喫煙防止イベント	受動喫煙防止のための展示及び肺年齢測定	福祉保健センター(成人)		4.コロナ等により縮小	5月31日の世界禁煙デーに合わせて、あいパルにて受動喫煙防止啓発用個包装マスクを計100名に配布。禁煙週間(5月31日～6月6日)を含む期間で、福祉保健センター及びあいパルにて受動喫煙防止に関するパネルの掲示。 また、屋内禁煙実施店舗の現地調査、戸田市認定禁煙実施店の認定、いいとだマップへの掲載(20店舗)	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、世界禁煙デーに合わせたイベント内容の検討をしていく。 また、飲食店を対象にした認定禁煙実施店舗の周知において、飲食店にとってメリットを感じてもらえるような周知方法を検討していく。
29 コンパルグラウンドゴルフ大会	笹目東小学校校庭。広報・コンパル内掲示板で周知	協働推進課 笹目コミュニティセンター		3.コロナ等により中止	4月に開催予定だったが、コロナ禍のため中止とした。	次年度は感染防止対策を講じながら開催予定。
30 サビない頭・体づくり	戸田市立地域包括支援にセンター職員による講演。広報・コンパル内掲示板で周知	協働推進課 笹目コミュニティセンター		5.その他(見直し、廃止)	その年度のみ単発講座のため、3年度は実施していない。	
31 健康維持増進案内	生活保護受給者の健康維持、健康増進について、保護だよりに掲載、訪問時に口頭指導を行っている	生活支援課		2.継続	・生活習慣病治療中断者30名に対して医療機関の受診勧奨を行った。 ・受診勧奨実施率 29人/30人(97%) ・対象者30人のうち、医療機関を受診し、かつ、治療(運動療法、食事療法、服薬)につなげた人数 11人(37%)	新型コロナウイルスの影響で対面ではなく電話での勧奨が中心であったため、医療機関への同行受診等が実施できなかった。
32 後期高齢者健康診査	生活習慣病の早期発見、健康保持・増進	保険年金課		2.継続	令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ実施した。	広域連合の方針や地域の実情に合わせて実施していく。
33 特定健診・保健指導事業	生活習慣病の予防と早期発見	保険年金課		2.継続	令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、受診勧奨事業も再開した。	今後も国の方針や地域の実情に合わせて臨機応変に対応していく
34 禁煙外来	予約制外来で喫煙による健康への悪影響をわかりやすく説明し、その人に合った禁煙プログラムを指導・助言していく	市民医療センター診療室		4.コロナ等により縮小	コロナの影響による治療薬の製造ラインが縮小化され供給が間に合っていない。禁煙外来受診者は1名であったが、治療には至らず。	治療薬の供給状況に合わせて対応していく。現時点では4年度後半以降再開予想となっている。

事業評価一覧

関連分野

事業名	内容	担当課	関連分野	R3年度		
				実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
35 小学校(特別活動)	学校給食と望ましい食習慣の育成	教育政策室		2.継続	事業内容については、市内各小・中学校において、学級活動(2)の内容として取り上げ、給食の時間を中心としながら、健康により食事のとり方など望ましい食習慣の形成及び食事を通じた人間関係づくりについて学習した	感染症対策を講じながら、できる範囲内で効果的な食に関する取組を推進する
36 ハイキング講座	戸田市ハイキング連盟引率によるハイキング講座。広報・コンパル内掲示板で周知	協働推進課 笹目コミュニティセンター		3.コロナ等により中止	10月に開催予定だったが、コロナ禍のため中止とした。	現地まで集団でバス等による移動のため、コロナ収束までは実施を見合わせる。
37 スポーツ教室	スポーツセンター主催の親子体操やエアロビクス等の80を越す教室	文化スポーツ課		2.継続	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
38 スポーツ教室	スポーツセンター共催によるテニスやトランポリンなどの教室	文化スポーツ課		2.継続	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
39 ボート教室	ボートのまち戸田を象徴するボート競技の普及するための教室	文化スポーツ課		4.コロナ等により縮小	感染拡大状況に応じ、4期中、2期を中止、2期開催	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
40 ボート&カヌー体験教室in彩湖	景色が良い彩湖でボートやカヌーを楽しむことができる体験教室	文化スポーツ課		2.継続	R3.10.24に実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
41 市民体力テスト	市民に自らの健康と体力増進について考える機会を提供する	文化スポーツ課		2.継続	R3.10.3に実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
42 戸田マラソンin彩湖	戸田市のイメージアップと全国のマラソン愛好家と市民が交流し併せて市民の体力と健康増進を図るための大会	文化スポーツ課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症により中止	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
43 全国交流レガッタ	ボート競技の普及を目的にボートコースを所有する各市町村の交流や町おこしのため実施される交流レガッタに市民の代表クルーを派遣する	文化スポーツ課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症により中止	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
44 全国交流レガッタ代表クルー選考会	ボート競技の普及を目的にボートコースを所有する各市町村の交流や町おこしのため実施される交流レガッタに派遣するクルーを選考する大会	文化スポーツ課		2.継続	R3.5.16に実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
45 市民体育祭地区大会	市民の体力の向上とコミュニケーションづくりを推進するため市内6ブロックで体育祭を実施する	文化スポーツ課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症により中止	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
46 市民体育祭競技大会	競技力の向上を図るため体育協会加盟26団体が市民を対象に競技会を実施	文化スポーツ課		4.コロナ等により縮小	加盟団体26のうち、16団体が実施	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
47 スポーツ推進委員との連携	市が委嘱し、地域でのスポーツの普及や、市のスポーツ活動を支援してもらう	文化スポーツ課		4.コロナ等により縮小	年8回の会議が7回実施に縮小、連携事業も1事業のみの実施となった	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
48 スポーツ推進スタッフとの連携	原則各町会より2名選出され市が委嘱、地域での運動普及活動をしてもらう	文化スポーツ課		4.コロナ等により縮小	R3.7.6に東京オリンピック聖火リレーが戸田市を通過した際、沿道警備員として連携を行った。	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
49 パラスポーツフェスタ	車いすで行うラグビー等、パラスポーツ競技を通じて、戸田市における障害者スポーツの理解と認識を上げ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた戸田市のPR。また戸田市から、パラリンピック選手を輩出する	文化スポーツ課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症により中止	次年度も感染症等の社会情勢に合わせた事業展開を予定している
50 市民農園「土に親しむ広場」	農作物の栽培や収穫の体験を通じて、農業への理解を深める	経済戦略室		2.継続	令和4年1月に新規利用者募集を行った。	新規利用者については例年公開抽選を実施していたが、市民が一つの部屋に密集することを懸念し、今年度も中止とした。今後も公開抽選は見送ることしたい。
51 ラジオ体操	月曜～金曜の平日、朝9時半から開催。毎朝、顔を合わせることで互いを気にし合い、高齢者の孤立を予防している	福祉総務課 上戸地域交流センター(あいパル)		5.その他(見直し、廃止)	高齢者向け交流イベントと統合	

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
52 音楽に合わせて脳トレ体操	椅子に座った姿勢でモニターの映像に合わせて手足や首を動かす体操をしたり、指先を使う運動で脳のトレーニングを行う	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいパル)		5.その他(見直し、廃止)	高齢者向け交流イベントと統合	
53 介護予防リーダー養成講座	介護予防サポーターの登用と地域の方々の健康増進を目指し、100歳体操を行う	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいパル) 健康長寿課				
54 TODA元気体操	自分にあった重りをつけて、椅子に座りながら行う運動。高齢者の筋力の維持向上による健康寿命の延伸と参加者の生きがいづくりを図る	健康長寿課		2.継続	コロナ禍でも新しい生活様式のもとで、地域包括支援センターと埼玉県理学療法士会と協力して、休止会場には再開支援、新規立上げの相談には会場立上げ支援を行った。4つの会場が新規で立ち上がり全28会場となった。全28会場のうち休止を継続しているのは4会場となった。	引き続き、既存会場の支援、新規立上げ会場の支援、休止会場への再開支援を行っていく。
55 シルバースポーツ大会	毎年10月に、高齢者の体力づくりと親睦を目的として各競技を行う大会	健康長寿課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、開催中止となった	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施を検討していく
56 ハートフル・サッカー	運動の楽しさを知る	保育幼稚園課		2.継続	ハートフル・サッカーをサッカーキャラバンと名称を変更。4・5歳児を対象に公立7園で実施することができた。	サッカーに限らず運動遊びやリズム遊び、リトミック等継続して行っていきたい。
57 体育科(保健)	小学3年生対象 毎日を健康に過ごすためには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること	教育政策室		2.継続	事業内容については、市内各小学校において、3年生の体育(保健)で取り上げ、毎日を健康に過ごすためには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを学習した	子供たちが学習内容を实际生活で活用できるよう、指導法を改善しながら継続して取り組む
58 体育科(保健)	小学4年生対象 体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること	教育政策室		2.継続	事業内容については、市内各小学校において、4年生の体育(保健)で取り上げ、体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であることを学習した	子供たちが学習内容を实际生活で活用できるよう、指導法を改善しながら継続して取り組む
59 健康講座 ~ (下戸田)	・ ストレッチ・リズム体操、おとなの3B体操で健康の増進	生涯学習課(下戸田公民館)		2.継続	・ は新型コロナウイルスワクチン接種会場となったためのみ開催。 ・ はソーシャルディスタンス確保のため定員数を削減して各5回実施 参加人数97人 参加人数72人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
60 土曜子ども広場(下戸田)	ボール、フラーループ、縄跳びを使い、楽しみながら運動する	生涯学習課(下戸田公民館)		5.その他(見直し、廃止)		
61 子どもバレエストレッチ教室(下戸田)	バレエストレッチにより成長期の筋肉、骨格を整える	生涯学習課(下戸田公民館)		2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員数を削減して実施 参加人数28人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
62 子育て講座 (下戸田)	ボール、ベル、ベルターを使った3B体操	生涯学習課(下戸田公民館)		2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員数を削減して実施 参加人数72人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
63 宝珠大学	認知症予防	生涯学習課(下戸田公民館)		5.その他(見直し、廃止)		次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する。
64 寿大学(新曽)	健康維持のための体操	生涯学習課(新曽公民館)		2.継続	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催日程を5月から11月に延期する。ソーシャルディスタンス確保のため軽度の運動として実施 参加人数13人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
65 親子体操講座 (新曽)	親子で楽しむ3B体操	生涯学習課(新曽公民館)		5.その他(見直し、廃止)		
66 ベビー体操 & 家庭教育講座 (新曽)	キッズヨガ、 バランスボール遊び	生涯学習課(新曽公民館)		2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員を削減して実施 参加人数28人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
67 ヨガ入門講座 (新曽)	ヨガの基本を学び、身体能力を上げ、持久力をつける	生涯学習課(新曽公民館)		3.コロナ等により中止		次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
68 パワーヨガ講座 (新曽)	運動量が非常に多いヨガで、身体能力を上げ、持久力をつける	生涯学習課(新曽公民館)		2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数31人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
69 初めてのフラダンス講座 (新曽)	初めての方でも楽しくフラダンスを学ぶ	生涯学習課(新曽公民館)		2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数88人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
70 壮健大学 (美笹)	バランス体操・健康維持の体操	生涯学習課(美笹公民館)		4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数6人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み一部見直しを行い運用を検討する
71 健康講座 ~ (美笹)	生き生き体操、 パークゴルフで健康!、 パワーヨガ、 パドルシャークスを使った体操	生涯学習課(美笹公民館)		~ 3.コロナ等により中止 4.コロナ等により縮小	中止、一部中止し参加人数14人、定員を削減して実施 参加人数12人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み一部見直しを行い運用を検討する
72 子育て講座 (美笹)	親子体操	生涯学習課(美笹公民館)		5.その他(見直し、廃止)		
73 こころの健康相談	こころの健康の不調や不安を抱える当事者及びその家族など周囲の方からの相談	福祉保健センター(成人)		2.継続	相談件数1,393件/年(延べ)	同様に実施予定
74 自殺対策事業	自殺予防に関する正しい知識の啓発や相談窓口等の情報発信	福祉保健センター(成人)		2.継続	9月の自殺対策週間と、3月の自殺対策月間に、公共施設にポスターの掲示、相談窓口周知カードの設置を実施した。また本庁舎3階に横断幕設置、公用自転車・公用バイク・公用自動車へのステッカーの掲示、広報に記事を掲載、戸田市ホームページとソーシャルメディアへ情報を掲載、健康情報ステーションにチラシの設置とポスターを掲示した。	令和4年度も引き続き実施する。
75 地域生活支援事業	相談支援事業	障害福祉課		2.継続	上半期:市内3事業所に委託 下半期:市内4事業所に委託(基幹相談支援センターを含む) (相談実績:17,794件)	市内4事業所に委託(基幹相談支援センターを含む)
76 一般書のテーマ別展示	9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間に関連図書展示、啓発ポスターを掲示	図書館		2.継続	中央図書館では、9月の予防週間、3月の対策強化月間に関連書籍等の紹介・テーマ展示を実施し、貸出を行った。 上戸田分館では前年度3月に引き続き、4月に予防・対策としてテーマ展示「心に寄り添う本」を実施し、貸出を行った。	令和4年度も引き続き実施する。 また、上戸田分館では食育月間に合わせて食育推進計画に関連する展示も実施する。
77 歯科健診	歯科健診	保育幼稚園課		2.継続	歯科健診の結果を個人だけでなく、全体の受診率等も集計し保護者向けの手紙も配布している。	次年度も例年通り実施していきたい。
78 歯磨き指導	歯磨き指導・むし歯予防	保育幼稚園課		2.継続	各園において看護師による歯磨き指導とむし歯予防集会を実施した。	引き続き、絵本やや集会等を通して、歯の大切さを伝えていきたい。

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
79 歯科健診(定期健康診断・就学時健康診断)	むし歯・歯周病予防を目的とした、歯科健診	学務課		2.継続	定期歯科健診については、各学校と学校歯科医が調整し例年通り実施した。また、就学時健康診断における歯科検診も例年通り実施した。	次年度も例年通り実施予定
80 学校歯科保健コンクール	学校における歯科保健活動状況に関するコンクール	学務課		2.継続	18校中16校から応募があり、そのうちの5校が表彰された。	コンクールへの参加は任意であり、応募は各学校の判断による。
81 「戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」啓発キャンペーン	当該条例に基づく喫煙マナーの向上を目的とした、市、町会・自治会、小中学生、その他団体・企業等の協力による、市内3駅前における啓発キャンペーンの実施	環境課		3.コロナ等により中止	駅前の喫煙制限区域における喫煙に対し、過料を科す条例改正を令和2年度に施行し、市内の環境衛生の向上を図っている。キャンペーンは中止となったが、広報の特集記事や市内でのポスター掲示により、喫煙マナーの啓発を行った	次年度もキャンペーンの実施や広報の掲載、駅前の巡回等により啓発を実施する
82 食育に関する市民活動支援	戸田市食育推進計画の11の目標指標・目標値に近づけられるよう、市民が自ら考え、行動することを支援する	福祉保健センター(親子)		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民会議及びイベントの実施ができなかった。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実施方法等を見直し検討していく。
83 食育月間	6月の食育月間のイベント 朝食・野菜摂取の推進	福祉保健センター(親子)		4.コロナ等により縮小	感染拡大防止のため、イベントは実施せず。庁舎屋上に横断幕、ロビーに啓発パネルを設置した。また、公共施設等にのぼり、TOCOバスや保育所等にポスターを掲示し、広く市民に周知した。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施方法等を検討していく。
84 「ぐっすり快眠」を目指す！簡単おうち薬膳とセルフケア	薬膳料理研究者による講座。食生活の改善による睡眠をテーマに実施。広報・HP・市内公共施設等へのポスター・チラシ掲示で周知。	協働推進課 新普南多世代交流館(さくらパル)		2.継続	昨年はコロナ感染症対策によりできなかった、試飲・試食を伴った講座を実施した。令和2年度は8名だった参加が、16名に増加した(定員20名)。	アンケートで「試飲・試食があっというれしかった」「試食が楽しかった」等の意見が多かったため、今後もコロナウイルスの感染状況を見つつ、試飲・試食ができる形で実施予定。
85 つくって食べよう！お喜楽食堂	毎月1回の集まりで減塩メニューを調理し頂く。料理を覚え家庭でも実践できるようにする	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいパル)		4.コロナ等により縮小	5回実施、38名参加	令和4年度以降も感染症対策等社会情勢に合わせながら運営を行う
86 食の安全講習会	県との共催で、子育て中の市民に向け、食の安全講習会を実施 (テーマ)食品の安全性を考える	こども家庭支援室		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見送った <終了年> 令和3年度をもって終了 <終了理由> 本事業へのニーズは年々減少していること、他事業への統合が可能のため。	
87 畑づくり・収穫	季節に合わせた野菜の苗植え・種まき・水やり・収穫、花の苗植え・種まきなどを行う。収穫した野菜は給食・おやつ等で提供する。野菜等を栽培することで、食への興味関心を持つ	保育幼稚園課		2.継続	季節の花や野菜の苗を植え、水やりや収穫を行った。また収穫した野菜を家庭に持ち帰り、家族で味わうこともできた	引き続き実施し、家庭でも親子で味わえるようにしていきたい。
88 クッキング保育	テーマに合わせて、子ども達が職員と収穫や調理を体験する	保育幼稚園課		4.コロナ等により縮小	感染予防対策を講じながら、できる範囲のことを行った。	感染状況を見ながら実施していきたい。
89 食育コーナー	サンプルケースでの献立の展示、食事のレシビや人気メニューの紹介・給食の様子・行事・マナー等の情報の掲示や配布を行う	保育幼稚園課		2.継続	各園工夫し保護者参加型のコーナーを作ったり、クイズ形式にし興味もてるようにした。	次年度も例年通り実施していきたい。
90 給食	毎日の昼食やおやつを通じて、食への興味、マナー、箸の持ち方、伝統文化等を知らせ、食を楽しむようにする	保育幼稚園課		2.継続	楽しい雰囲気の中で、食事のマナーを知らせ食を楽しめるようにしてきた。	次年度は、年長児のリクエストメニューや保護者おすすめの一品を献立に入れていく。
91 もぐもぐランチルーム・バイキング	ランチルームをつくり、好きな時間に食事をしたり、バイキング体験を行う	保育幼稚園課		4.コロナ等により縮小	コロナ禍により、バイキング等は実施できなかったが、室内ではなく園庭で距離をとり食事を行うなどの工夫を行った。	感染対策を講じながら、楽しく食事のできる雰囲気づくりを今後も行っていきたい。

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
92 食育集会	テーマに合わせて、園児に食育の話をを行う	保育幼稚園課		2.継続	感染予防対策として、全体での集会はやめて、クラスごとに行った。	引き続き、食に興味ができるような
93 離乳食講習会	地域の子育て家庭にむけた栄養士による離乳食講習会 離乳食講習とデモンストレーション	保育幼稚園課		4.コロナ等により縮小	感染対策を講じながら、密にならないよう参加者を減らして実施。	保護者からの要望も多いことから、今後も継続していきたい。
94 幼児食講習会	地域の子育て家庭にむけた栄養士による幼児食講習会	保育幼稚園課		4.コロナ等により縮小	感染対策を講じながら、密にならないよう参加者を減らして実施。	保護者からの要望も多いことから、今後も継続していきたい。
95 サークル親子クッキング	サークルで考えた献立を親子でつくる(サークルの親子対象)	保育幼稚園課		3.コロナ等により中止	コロナ禍で閉所になった期間もあり、未実施となった。	状況により可能になれば実施していきたい。
96 絵本・紙芝居の読み聞かせ	年齢にあわせ食育に関する絵本や紙芝居の読み聞かせをする	保育幼稚園課		2.継続	食育に関する絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。	今後も引き続き行っていきたい
97 行事食	行事食を通して、日本の食文化を知る	保育幼稚園課		2.継続	献立に行事食を入れ、由来等をおたよりで家庭に知らせた。	今後も引き続き行っていきたい
98 もぐもぐ放送	年長児による食育放送の実施	保育幼稚園課		2.継続	献立に関する放送から水分補給や健康面に関する放送を加えるなどして、行うことができた。	子ども達自身が楽しみにしているので、内容を工夫し継続していきたい。
99 食育ボードでの周知	食育通信等の発行や掲示	保育幼稚園課		2.継続	おたよりや食育ボードを活用した発信を行った。保護者参加型に加え調理師も参加し充実させた園もあった。	今後も引き続き行っていきたい
100 保育参観・懇談会	「食育」の取り組みと保護者との連携	保育幼稚園課		4.コロナ等により縮小	写真や書面での発信に加え、保護者限定での動画配信をした園もあった。	状況に関わらず、方法を工夫し行ってきたい。
101 小学校(家庭科)	食事の役割、栄養、調理の基礎について指導する 題材名「はじめてみようクッキング」「食べて元気に」「いためてつくろう朝食のおかず」「くふうしよう おいしい食事」	教育政策室		2.継続	事業内容については、デジタル教科書等を活用し5・6年生の学習において調理の基礎技能や食品の栄養的な特徴の理解、それらを踏まえた1食分の献立づくりなどを学習した	感染症対策を講じながら、できる範囲内で効果的な食に関する取組を推進する
102 中学校(家庭科)	食生活と栄養、献立、食品の選び方、日常食の調理、地域の食文化について指導する 題材名「健康と食生活」「食品の選択と保存」「調理をしよう」	教育政策室		2.継続	事業内容については、生活の中で食事が果たす役割や、中学生に必要な栄養と食習慣への理解、食文化の継承、食材に応じた調理の仕方、食品の選択と保存などについて学習した	感染症対策を講じながら、できる範囲内で効果的な食に関する取組を推進する
103 「食育指導計画」による食育への取り組み	各学校での計画に基づく取組 (例)食育目標・食育だよりの発行・野菜の皮むき体験・保護者とのふれあい給食・食育朝会・給食室探検・世界や日本の郷土料理体験・地域の方や栄養教諭によるT.T.授業・外部講師によるエコ・クッキング	教育政策室		4.コロナ等により縮小	各学校で、食育目標の周知や、食育だよりの発行を通して、食事による健康の保持増進についての理解を広めた	次年度以降は、感染状況等を注視しながら、できる範囲内で効果的な食に関する取組を推進する
104 学校給食を生かした食育の取り組み	給食を通して、食への興味、マナー、伝統文化(各地の郷土料理)等を知らせる。また、地産地消(県内農家が生産した農作物を給食で使用する)の取り組みを推進する	学校給食課		2.継続	計画通り給食を提供することができた。また県内産の農作物や、市内農家から提供されたじゃが芋等を使用した給食を提供することができた。	今後も継続して事業を推進する。
105 生活講座 ~ (美笹)	パン作り、ケーキ作り、炊飯器を使った料理、そば打ち、うどん打ち	生涯学習課(美笹公民館)		3.コロナ等により中止、~ 4.コロナ等により縮小	新型コロナウイルスの影響による中止、~ ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なし参加人数・・・参加人数8人、参加人数7人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
106 子ども講座 (美笹)	夏休み子どもお菓子作り	生涯学習課(美笹公民館)		4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なし。参加人数8人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する

事業評価一覧

関連分野

				R3年度		
事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
107	生活講座	手打ちそば作り	生涯学習課(下戸田公民館)	4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員を削減し、館内試食なし・時間短縮で実施 参加人数12人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
108	親子料理講座	子どもにできる手軽な料理を楽しく作る	生涯学習課(新曽公民館)	3.コロナ等により中止		次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
109	親子デコレーションケーキ作り講座	クリスマスケーキを親子で協力しながらつくる	生涯学習課(新曽公民館)	2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なしで実施 参加人数4組8人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
110	子どもに食べさせたいパンとケーキ作り講座	パンやケーキを楽しく作る	生涯学習課(新曽公民館)	2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なしで実施 参加人数5人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
111	子ども料理教室1、2	子どもにできる手軽な料理を楽しく作る	生涯学習課(新曽公民館)	2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なしで実施 参加人数4人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
112	子育て講座(美笹)	親子ふれあい料理講座(親子でお菓子作り)	生涯学習課(美笹公民館)	4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なし。参加人数4人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
113	美里町じゃがいも掘り	美里町において現地の農業団体指導の下、市民がじゃがいもの収穫体験を行う	経済戦略室	3.コロナ等により中止		次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
114	外来栄養指導	市民医療センター外来患者の個別栄養指導(医師の指示)	市民医療センター診療室	2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数31人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
115	有床診療所の栄養管理体制	市民医療センター入院患者の栄養管理	市民医療センター診療室	2.継続	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数88人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
116	食の安全・安心のための啓発活動	毎年、情報冊子「くらしの豆知識」、関係機関のリーフレット等配布、食品事故等の情報提供	くらし安心課	4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び軽度の運動として実施 参加人数6人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み一部見直しを行い運用を検討する
117	JAS法に基づく立入検査	任意に店舗を選定し、食品の適正表示等の確認を行い、必要がある場合には措置を講じる 市民からの相談・苦情や国・県から調査依頼があった場合、必要に応じて国・県の立会いのもと任意立	くらし安心課	～ 3.コロナ等により中止 4.コロナ等により縮小	中止、一部中止参加人数14人、定員を削減して実施 参加人数12人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み一部見直しを行い運用を検討する
118	生ごみ堆肥化(花苗交換事業)	協力家庭が生ごみを、直接、施設に持ち込み花苗と交換。持ち込まれた生ごみを使用し、堆肥を作成	環境課	2.継続	循環型社会を構築する取り組みとして、順調に実施している	継続して実施する
119	家庭系生ごみリサイクル業務委託	協力家庭から回収した生ごみで作った堆肥を使用して野菜等を栽培し、学校給食などで活用	環境課	2.継続	堆肥を使用して米を栽培し、学校給食で活用した	循環型社会を実感できる教育の取り組みであり、継続して実施する
120	小・中学校施設管理費	ごみの減量化を主旨として「生ごみ処理機」を各校へ設置(単独校給食調理場のない小学校を除く)	教育総務課	3.コロナ等により中止、～ 4.コロナ等により縮小	新型コロナウイルスの影響による中止、～ ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なし参加人数・・・参加人数8人、参加人数7人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
121	メンタルチェックシステム「こころの体温計」	インターネットで自身のこころの状態についてチェック入力することで、こころの健康状態を認識し、うつ病などの問題の予防行動、相談・受診行動を促す	福祉保健センター(成人)	4.コロナ等により縮小	ソーシャルディスタンス確保のため定員の削減及び館内試食なし。参加人数8人	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
122 老人いこいの室	各福祉センターで高齢者向けのフリースペースを運営。地域交流を図る。	福祉総務課(福祉センター)		4.コロナ等により縮小	年間延べ開室日数 機能を限定して実施 999日(3センター合計)	令和4年度以降も感染症対策等社会情勢に合わせてながら運営を行う
123 こころとからだの健康相談	保健師資格を有する職員による相談事業を実施。共有スペース利用者に声掛けし、生活や家族に関する相談を受け付ける。	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいバル)		4.コロナ等により縮小	26回実施、56名参加	感染症対策を今後も徹底し、安心して相談できる環境を提供する。看護師のコミュニティルームにて健康に関する心配がある方に気付き、保健師の健康相談へつなげられるよう双方で連携する。
124 高齢者向け交流イベント	毎日定時に誰もが参加できるイベントを実施。ラジオ体操やフリーイベントを行う。	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいバル)		4.コロナ等により縮小	ラジオ体操203回/10,988人参加 フリーイベント96回/1,577人参加	感染症対策を行った上で、より多くの方に参加してもらうことで、高齢者の交流を促す。
125 看護師つじちゃんのおしゃべりコミュニティルーム	地域で活躍する看護師と一緒に健康について話しながら、地域の顔見知りを増やす。病になる前にちょっとした身体の気になることを聞き、情報の提供を行う。	福祉総務課 上戸田地域交流センター(あいバル)		3.コロナ等により中止	21回実施/168名参加	感染症対策を行った上で、より多くの方に参加してもらうことで、参加者同士の交流により健康意識の向上につなげる。
126 小学校 体育科(保健)	小学5年生対象「心の健康」心と体の密接な関係や、不安や悩みへの対処(相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなど)について学習する。	教育政策室		2.継続	事業内容については、市内各小学校において、5年生の体育(保健)で取り上げ、心と体の密接な関係や、不安や悩みへの対処(相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなど)について学習した	子供たちが学習内容を实际生活で活用できるよう、指導法を改善しながら継続して取り組む
127 中学校 保健体育科(保健分野)	中学1年生対象「心身の機能の発達と心の健康」心身相関の理解や、欲求やストレスへの適切な対処について学習する。	教育政策室		2.継続	事業内容については、市内各中学校において、1年生の保健体育(保健分野)で取り上げ、心身相関の理解や、欲求やストレスへの適切な対処について学習した	子供たちが学習内容を实际生活で活用できるよう、指導法を改善しながら継続して取り組む
128 教育相談の充実	教育相談の実施 【相談内容】 いじめ等に関する相談、不登校等の相談、就学に関する早期個別相談、その他教育に関する相談	教育政策室 (教育センター)		2.継続	学齢期の児童生徒その保護者を対象に電話相談、来所相談等、3330件の相談を実施した。就学に関する早期個別相談については、市内の幼稚園、保育園等に周知し、次年度就学する幼児を対象に110件の就学相談を実施した。	次年度も引き続き、多様な相談のニーズに応じた教育相談体制を整備していく。
129 教職員・市職員向けゲートキーパー研修	子どもの自殺予防を目的として、ゲートキーパーの役割を学ぶ	教育政策室 福祉保健センター		2.継続	市内小中学校教職員、教育政策室、こども家庭支援室、福祉保健センター職員を対象に大学教授を講師として実施。新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインで実施し、参加者は45名であった。	同様に実施予定
130 公園整備・改修	公園の新規整備や改修時に、市民協働により、公園の機能や役割を整理し、個性を引き出す整備を行う。	みどり公園課		1.新規	公園リニューアル計画モデル公園設計に係るワークショップを3回実施。 50名参加	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
131 公園の使用効果の向上	多様な主体による公園の利用を促進し、健康寿命の延伸につながる相乗効果につなげていく。	みどり公園課		3.コロナ等により中止	新型コロナウイルスの影響による中止	次年度以降も感染症対策等社会情勢を鑑み運用を検討する
132 健康体操 「健康体操 さくらバル～みんなで楽しく健康づくり3B体操～」	運動は苦手、スポーツは疲れるというイメージを持たれている方にも気持ちが良い3B体操を実施。高齢者には足腰の強化・子どもには運動を楽しめる第一歩とした内容	協働推進課 新曽南多世代交流館(さくらバル)		2.継続	当初は高齢者・子どもを対象としていたが、コロナウイルス感染症対策で高齢者のみを対象とし、実施。定員10名で、10名申し込みがあった。(1名当日腰痛のためキャンセル)	感染リスクが高く、感染すると重篤になる可能性のある高齢者や子どもが対象の事業のため、コロナウイルスの感染状況をよく見て開催を検討していきたい。
133 スポーツウェルネス吹矢 「腹式呼吸で健康増進！スポーツウェルネス吹矢」	腹式呼吸で行う「スポーツウェルネス吹矢」を通じ、心と体の健康増進を目的とした内容。	協働推進課 新曽南多世代交流館(さくらバル)		3.コロナ等により中止	2月頃の開催予定であったが、コロナ禍での吹矢の実施で飛沫感染の可能性が考えられたため、周知をする前に中止とした。	コロナウイルスが流行している中での実施は難しいため、ひとまず令和4年度は見送ることとした。コロナウイルスが収まった頃に、再度実施を検討予定。

事業評価一覧

関連分野

R3年度

事業名	内容	担当課	関連分野	実施区分 1.新規2.継続3.コロナ等により中止4.コロナ等により縮小5.その他(見直し、廃止)	実施状況・実績	課題・方針
134 やさしいヨガ(入門編)	毎週1回実施。初心者にも無理なく身体と心をリフレッシュする。	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	27回実施、519名参加。	コロナ禍をきっかけに体を動かす週間づくりの入口として利用していただくことができた。引き続き、感染対策を行い、社会情勢を鑑みながら開催する。
135 リフレッシュヨガ	毎週1回実施。やさしいヨガ(入門編)よりも難易度の高いコース	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	27回実施、503名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。	参加者それぞれ目標を持ってお互いに高め合いながら、体を動かす楽しさを実感している。継続してもらえるよう務める。
136 ペルビックストレッチ	週1回実施。骨盤を中心に全身を調べ、しなやかな身体作りをする	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	74回実施、1257名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。	引き続き感染対策を行い、社会情勢を鑑みながら開催する。
137 夜のリフレッシュ&リラクソヨガ	週1回実施。座って体をほぐし、呼吸とともにゆっくりねじる・やさしく反る等で体を調整し、心身ともに軽くする	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	20回実施、288名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。 コロナ禍により健康への意識が高まったからか新規申込者が増加した。	社会情勢を見て、日常生活が戻ってきていることから、仕事帰りに参加できる時間への希望もあり、令和4年度より、元の開催時間に戻して開催する。
138 美姿勢ボディメイク	月3・4回程度実施。固くなった筋肉をほぐして整え、有酸素運動と筋力トレーニング、ストレッチ等を行い、美しい姿勢を作っていく	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	26回実施、233名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。	引き続き感染対策を行い、社会情勢を鑑みながら開催する。
139 ハワイアンリトミック	2週間に1回実施。子どもと一緒に親子のスキンシップを図り、楽しく五感に働きかける	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	48回実施、999名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。 また、貸出のバウスカートや道具等の感染リスクがあるものを中止し、内容を見直し開催した。	引き続き感染対策を行い、社会情勢を鑑みながら開催する。
140 心もカラダも元気に! 親子ヨガ	毎週実施。赤ちゃん和交流しながら、さまざまなヨガのポーズや呼吸を行い、リフレッシュする。親子で心身をほぐして絆を深める	生涯学習課 上戸地域交流センター(あいバル)		2.継続	21回実施、444名参加。 新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を50%にした。	引き続き感染対策を行い、社会情勢を鑑みながら開催する。 親子で身体を動かし、親身共に健康を維持できるよう務める。
141 戸田市健康なまちづくり推進庁内会議	市民が健康で幸せに生活できる「健康なまちづくり」の推進	福祉保健センター		2.継続	新型コロナウイルス感染症のため、書面会議を1回実施	令和4年度も引き続き実施する。実施方法については検討する。
142 自宅で簡単にできるストレッチ・筋トレ講座	コロナ禍でも健康な生活を送るために、日常的に自宅でできるトレーニング講座。	協働推進課 笹目コミュニティセンター		1.新規	広報紙、コンパル通信、リーフレット、コンパルHPで募集し15名の参加。	3年度のための講座なので、次年度は健康に関する新たな講座を予定。
143 親子ヨガ お子様と初めての運動を楽しもう	毎年「手形・足形べったんアート」と交互に実施。親子で参加できるヨガや赤ちゃんアートを実施している実績ある講師を招き、近隣在住の月齢が近い子どもと保護者の交流や、ママ友・パパ友づくりのサポートを目的とする。広報・HP・市内公共施設	協働推進課 新曽南多世代交流館(さくらバル)		1.新規	定員5組×2回転のところ、4組×2回転の参加があった。アンケートでも「もっと長くやりたかった」「月に2・3回やって欲しい」等、好評であった。	感染リスクが高く、感染すると重篤になる可能性のある子どもが対象の事業のため、コロナウイルスの感染状況をよく見て開催を検討していきたい。

計画策定スケジュール案(R5)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健対策推進協議会		第1回 計画策定に係る諮問 計画の基本方針		第2回 計画構成イメージ				第3回 (1)計画書検討 (2)パブリックコメントについて (3)概要版検討		第4回 (1)パブリックコメント報告 (2)計画書・概要版決定 (3)答申		第5回 報告
まちづくり推進庁内会議		第1回 (1)R5実績調査・新計画に向けた事業調査の説明	第2回 (1)R5実績調査・新計画に向けた事業調査の進捗	第3回 (1)計画構成イメージ説明 (2)概要版検討			第4回 (1)計画進捗 (2)概要版進捗	第5回 (1)計画素案進捗 (2)概要版進捗		第6回 (1)パブリックコメント報告 (2)計画書・概要版決定		
関係各課へのヒアリング		関係各課へのヒアリング、事業調査										
議会			議会			議会			委員会報告			委員会報告
パブリックコメント									実施起案 (各施設配布・HP)	パブリックコメント	報告起案	
各課照会		【現計画のR5年度実績調査】【新計画に向けた事業照会(棚卸)】準備・起案	【現計画のR5年度実績調査】【新計画に向けた事業照会(棚卸)】実施	まとめ (計画書に入れて第4回庁内委員会へ提出)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※業者を入れた際の計画策定となり、各所属の業務内容についてヒアリングを実施する予定です。